

平成27年度 学校評価報告書（実施結果）

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
教育課程の弾力化を推進し、生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図る。	<p>①多様な生徒・保護者の実態を踏まえた教育課程の編成により柔軟な学びのシステムを工夫する。</p> <p>②校種間連携の取組による学習機会の構築や校外講座等の活用など柔軟な教育課程の運用を図る。</p> <p>③教育活動全体を活性化させるために時間割の枠組の最適化を図る。</p>	<p>①生徒の実情やニーズを踏まえて「めざす生徒像」の検証と教育課程の工夫ができたか。</p> <p>②定通併修等の校種間連携の検討が進み、校外講座等の学校外の活動への参加を促すことができたか。</p> <p>③授業時間を確保するとともに効果的な運用ができたか。</p>	<p>①9分の授業を週5日行う「総合的な学習の時間」の設定により多様な生徒の実態に合わせた指導が実現できた。</p> <p>②定通併修については検討はしたものの具体的な計画策定には至らなかった。東部かなテクカレッジとの連携を始めた。</p> <p>③・次年度以降の教育課程の枠組みについて確定させることができた。 ・定期試験の日程等を変更し、授業時間を増やすことができた。</p>	<p>①・生徒の学力差が拡大しており、「まなび直し」を必要とする生徒の支援につながる教育課程の検討を進める。</p> <p>・生徒の実態を踏まえた教育課程の精選に向けて検討を進める。</p> <p>②・教育課程の見直しに含めて三修制希望者のニーズを踏まえた定通併修の検討を行う。</p> <p>・他校種との連携について希望者が少ない状況であることから、生徒・保護者への情報提供などについても検討していく。</p> <p>③引き続き、年間を通じた計画を検証し、定時制生徒の実態を踏まえた授業編成を検討する。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題を抱えた生徒が卒業し、進路実現できるようしていただきたい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「9分総合」の取組は評価できる。 <p>・生徒のために様々な支援に取り組んでいただくよう期待する。</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年において毎日9分間×5日間で「総合的な学習の時間」を実施し、キャリア学習につなげることができた。 ・学校外の学修として東部かなテクカレッジとのダブルスクールによる単位認定の仕組みを整えた。卒業後の進路実現を視野に入れた学習環境作りの一環として、生徒の支援につながるよう周知を図りたい。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程と時間割の枠組みの整備については高校改革の中で検証と整理を行う。 ・定通併修等の環境整備について具体的な検討を目指す。
個に応じたきめ細やかな支援により、安全・安心な学習環境を整える。	<p>①教職員の連携を密にし、生徒情報の共有化を図り、きめ細やかな支援体制を構築する。</p> <p>②少人数・習熟度別授業の充実を図るとともに生徒による授業評価などを活用して効果についての検証を行う。</p> <p>③スクールカウンセラーとの連携を強化し、ケース会議などにより組織的な支援を行う。</p> <p>④日本語を母語としない生徒など、課題のある生徒に対して外部機関と連携した支援を生徒個々の状況に応じて行うとともに効果についての検証を行う。</p>	<p>①学校全体や学年などで情報共有が進みチームによる支援ができたか。</p> <p>②少人数・習熟度別授業により、生徒の学習意欲を高めることができたか。</p> <p>③必要に応じてケース会議を実施し、個別の支援を行うことができたか。</p> <p>④日本語を母語としない生徒の支援を効果的に行うことができたか。</p>	<p>①キャリアコーディネーターを交えるなど学年会等の有効活用により細やかな支援ができた。</p> <p>②「生徒による授業評価」による検証は不十分であったが、授業改善につなげることはできた。</p> <p>③学年会とSCの連携によりケース会議を行い、チームによる生徒支援につなげた。</p> <p>④・外部機関と連携し、新たに日本語能力の測定を実施した。 ・多文化教育コーディネーターとの連携が改善した。</p>	<p>①課題を抱えた生徒が多いことから、今後も情報共有システムの強化が必要であり、キャリアコーディネーター事業の恒久化も求められる。</p> <p>②「CAN-DO」リストの活用や新たな測定方法の導入も視野に入れて生徒の学習環境改善に向けたシステム構築を目指す。</p> <p>③SCや外部機関との連携によりチームによる支援体制の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化により生徒と向き合う時間の確保を図る。 <p>④継続的な測定により効果の検証を行う。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を抱えた生徒が多いので、それぞれの生徒にあった指導をお願いしたい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制課程にはさまざまな課題を抱えた生徒が在籍していることから、継続的な支援をお願いしたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との連携などにより課題を抱えた生徒のキャリア支援に取り組むことができた。4学年ではSHRの活用によるキャリア学習なども取り入れて生徒の意識改革に取り組んだ。 ・英語、数学の習熟度別授業について、拡大して取り組むことができた。 ・日本語を母語としない生徒に対する支援の効果測定を実施し、支援の方向性を探る資料の収集に努めた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力差が拡大する傾向にあることあら、習熟度別授業の展開方法などを継続的に検証、検討していく。 ・外部機関との連携を継続し、さまざまな課題を抱えた生徒への組織的支援体制の整備を行う。
学習意欲を高め、生徒の主體的な学習を支援することで確かな学力の向上を図る。	<p>①授業方法や教材の工夫改善により基礎学力の定着を図る。</p> <p>②発展的な学習や課題解決型の学習を充実させ、生徒の学習意欲を向上させる。</p> <p>③生徒による授業評価を活用し、組織的な授業改善に努める。</p> <p>④年間指導計画と観点別評価の効果的活用により生徒の学習意欲を高める工夫を図る。</p>	<p>①基礎学力の定着につながる授業展開を工夫できたか。</p> <p>②生徒が主体となった発展的な学習や課題解決型の学習を展開できたか。</p> <p>③授業評価結果の分析をフィードバックするとともに、組織的に授業改善を推進することができたか。</p> <p>④年間指導計画と観点別評価を効果的に活用する工夫ができたか。</p>	<p>①・TTの導入や教材の開発により基礎学力の定着に取り組めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り学習を展開し、生徒主体の学習を展開した。 <p>②ペアやグループによる学習を展開し、発表機会などを取り入れることができた。</p> <p>③生徒が求める評価について教員間で共有し、授業改善につなげることができた。</p> <p>④年間指導計画の研修を通じて、観点別評価について再確認することができた。</p>	<p>①・学力差が拡大していることへの対応が必要であり、教科間の連携なども検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや小テスト結果のフィードバックなどにより基礎学力を定着させる。 <p>②コミュニケーション能力が不足している生徒への支援が必要である。今後も継続的な取組に努める。</p> <p>③科目。教科を超えた授業改善の研修が必要であり、実施について検討する。</p> <p>④学習意欲の低い生徒の意欲を高めるよう、授業改善と連携して改善に努める。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒がしっかりと授業に参加しているのを目にして驚かされた。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が卒業できるよう指導をお願いしたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実に向けた指導については各教科で課題意識をもって取り組むことができていたが、一層の研究と実践が求められる。 ・年間指導計画の改定に取り組んだが、教育課程全体の見直しを含めて更なる検証が求められる。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒による授業評価」結果公表の方法について検証と改善に努める。 ・授業改善に向けた組織的なシステム構築と実践に努める。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
生徒一人ひとりの自己実現を目指し、教育活動の全体を通じたキャリア教育を推進する。	<p>①入学から卒業までを見通した系統的なキャリア支援体制の構築を図る。</p> <p>②生徒のキャリア意識を高めることを意識した組織的な進路指導・教科指導により、進級・卒業につながる教育活動を推進する。</p> <p>③学校行事・部活動等への参加を通して、生徒の自主性の涵養を図る。</p>	<p>①系統的なキャリア支援体制が構築できたか。</p> <p>②進級・卒業に対する生徒の意識を高めることができたか。</p> <p>③学校行事・部活動等への参加率は向上したか。</p>	<p>①・各学年で外部講師による説明会を実施し、キャリア意識を高める取組を行った。</p> <p>・4学年でキャリアに関するドリル学習などを取り入れ、生徒の意識を高めることができた。</p> <p>②就職率は向上したが、三修制卒業者の進路未定者が多かった。</p> <p>③・バドミントン部は8年連続全国大会に出場し、団体戦準優勝を果たした。</p> <p>・積極的な働きかけにより学校行事への参加率が向上した。</p>	<p>①学年により取組の差が見られた。学校全体の取組として連携を深めるよう努める。</p> <p>②進路未定のまま卒業する生徒が一定存在する。総合的な学習の時間やHRの活用などによりキャリア意識を育成する。</p> <p>③・部活動顧問効果的な配置により幅広い部活動の活性化を図る。</p> <p>・行事の運営に関して多くの生徒が参加意欲を持てるよう更なる検討を行う。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・生徒が卒業に向けて学校生活を送れるよう、継続的な指導をお願いしたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・キャリア教育に関しては系統的に取り組むよう努めてきたが指導に乗らない生徒が存在した。卒業後の指導にも取り組んでいるが、早期の意識付けなどに取り組むことが求められる。</p> <p>・学校行事や部活動への参加を促す活動は継続的に実施できた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・1年生での「9分総合」や2年生からのSHRを効果的に活用したキャリア支援体制の確立を目指す。</p> <p>・学校行事の活性化に向けた組織的な取組の強化を図る。</p>
保護者、地域と学校との協働・連携により学校の活性化を図るとともに、開かれた学校づくりを推進する。	<p>①地域貢献活動・ボランティア活動への生徒の参加を支援する。</p> <p>②ホームページの有効活用等により広報活動を展開し、学校行事などを通じた地域との連携を図る。</p> <p>③PTA活動の活性化を支援し、保護者・地域と学校との連携を図る。</p>	<p>①地域貢献活動・ボランティア活動への参加意識を高めることができたか。</p> <p>②学校ホームページの整備が進み、行事への来校者は増加したか。</p> <p>③PTA行事の活性化を図ることができたか。</p>	<p>①ボランティア活動の参加者が減少した。地域貢献活動の参加者は増加し、旭区少年補導員の協力も得て清掃活動に取り組んだ。</p> <p>②リニューアルはできなかった。更新は頻繁に行い、情報の周知を徹底した。</p> <p>③月例会議・試食会・社会見学等実施できた。新入生保護者の役員会加入は得られなかった。</p>	<p>①ボランティア活動の目的や意義について啓発活動を行うことで参加生徒を増やす。</p> <p>②HPのリニューアルを行う。</p> <p>③PTA組織の着実な継承を目指し、職員の組織的な支援体制を整える。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・今年も夜間の地域貢献活動は少年補導員の協力を得て実施し成果を得た。</p> <p>・ボランティア活動に参加し単位認定され、三修制での卒業に結び付けた生徒もいた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・HPのリニューアルを行い、本校に関する様々な情報を公開することで、PTA活動を含めたさまざまな学校行事や中学生等への広報活動を充実させていく。</p>	
学校運営の改善に向けた取組を系統的に行うことで、信頼される学校づくりを推進する。	<p>①学校目標とその取組について定期的に評価するシステムの構築を図る。</p> <p>②定時制における教育活動の公開やホームページの活用による情報公開により学校情報の適切な発信に努める。</p> <p>③防災対策、交通安全・食育を推進することで、命の大切さに対する生徒の意識啓発を推進するとともに、危機管理体制の整備に努める。</p>	<p>①定期的な評価と結果の活用ができたか。</p> <p>②学校ホームページによる情報発信が行われ、学校関係者への情報公開が適切に行われたか。</p> <p>③安全・安心な教育環境の整備と交通安全・食育に対する意識啓発が推進できたか。</p>	<p>①中間評価を実施し、組織的に見直しを行うなど、その後の取組につなげることができた。</p> <p>②学校目標や学校行事の予定などをHPにより公開し、広報に努めた。</p> <p>③防災避難訓練や旭警察署との連携による交通安全指導を実施できた。</p>	<p>①定期的な評価を効果的な取組とするためのシステムを検証する。</p> <p>②HPによる情報公開を積極的に進める。</p> <p>③・夜間定時制としてより実践的な防災訓練を実施する。</p> <p>・バイク、自転車通学に関する指導の徹底を図る。</p> <p>・食の問題を抱えた生徒が多い。欠食について検証していく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・防災に関しては今後も最善の対応を目指していただきたい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・HPなどを積極的に活用するとよい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・学校目標の中間評価を行い、年度途中で取組の修正などに結び付けることができた。</p> <p>・安全教育については継続的に実施し、成果も見受けられるが、夜間定時制の条件による課題も多く、全日制とは異なる体制なども視野に入れた計画作りも求められる。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・学校防災マニュアルの見直し等を継続して行い、夜間定時制としての防災体制の強化を図る。</p> <p>・食の課題については他の定時制との連携も視野に入れて検証したい。</p>